

東京都立大塚病院
歯科医師
臨床研修プログラム

平成27年4月

東京都立大塚病院
臨床研修管理委員会

目 次

1	東京都立大塚病院歯科医師臨床研修プログラムの概要	3
2	東京都立大塚病院歯科医師臨床研修カリキュラム	
	Ⅰ. 到達目標（1）	7
	Ⅱ. 到達目標（2）	8
	Ⅲ. 具体的な研修項目（1期：1年目）	10
	Ⅳ. 具体的な研修項目（2期：2年目）	13

1 東京都立大塚病院歯科医師臨床研修プログラムの概要

(1) 研修プログラムの名称

東京都立大塚病院歯科医師臨床研修プログラム

(2) 歯科医師臨床研修の概要

歯科医師臨床研修の目標は、患者中心の全人的医療を理解し、全ての歯科医師に求められる基本的な診療能力（態度、技能及び知識）を身に付け、生涯研修の第一歩とすることである。なお、この目標については、施行後5年以内にその施行状況等を踏まえ検討し、見直しを図る。

(3) 特色

今後の高齢化社会を迎え、増加するであろう基礎疾患を有する患者の歯科治療に際し、隣接医学に習熟した歯科医師を育成すること。さらに、当科で多く見られる口腔外科的疾患の診断と治療の造詣を深めること。

(4) 歯科医師臨床研修のねらい

- ① 歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
- ② 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- ③ 歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身に付ける。
- ④ 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- ⑤ 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
- ⑥ 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身に付ける。
- ⑦ 専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、障害研修の意欲への動機付けをする。
- ⑧ 歯科医師の社会的役割を認識し、実施する。

- (5) プログラム責任者
口腔科部長 田中 潤一
- (6) 研修期間
2 年
- (7) 研修医の指導体制
- ① 口腔科指導責任者及び指導医数
指導責任者： 田中 潤一 部長
指導医数： 3 名
- (8) 研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法
- ① 募集定員
1 年次 : 1 名
- ② 募集方法
公募による。
- ③ 選考方法
面接（場合により筆記試験あり）
- ④ 採用の決定
研修医マッチングへ参加し、採用を決定する。
- (9) 研修医の処遇
- ① 身分及び研修手当等
- ・東京都非常勤職員（臨床研修医）
 - ・報酬月額（平成26年4月現在 税込み）
302,400円
- 通勤手当支給あり、賞与なし

- ② 勤務時間等
- ・基本的な勤務時間 8 : 4 5 ~ 1 7 : 3 0
 - ・休暇
 - 有給休暇 1年次 任用6か月後から7日付与
 - 夏期休暇 毎年2日
- ③ 時間外勤務
- 時間外勤務 なし
- ④ 宿舎及び病院内の個室
- ・宿舎 完備 (単身用)
 - ・研修医の病院内の個室 1室
- ⑤ 社会保険・労働保険
- ・公的医療保険： 政府管掌保険
 - ・公的年金保険： 厚生年金
 - ・労働者災害補償保険法の摘要： あり
 - ・雇用保険： あり
- ⑥ 健康管理
- ・年1回 健康診断実施
- ⑦ 医師賠償責任保険
- ・病院における加入： なし
 - ・個人加入： 任意
- ⑧ 外部の研修活動
- ・学会、研究会等への参加： 可
 - ・費用負担： 一部負担あり

(10) 地域医療

- ・研修協力施設： 中山歯科医院又は豊島区歯科医師会あぜりあ歯科診療所
- ・研修内容及び期間： 学校歯科検診の見学等、1日から2日程度
豊島区歯科医師会あぜりあ歯科診療所での障害者、訪問歯科治療の見学等、3週間程度
- ・研修協力施設における研修実施責任者： 中山 行雄 院長
豊島区歯科医師会会長

(11) その他

日本医療機能評価機構による認定

- ・認定施設： 一般病院
- ・認定番号： 認定第GB91-3号
- ・認定期間： 2009年1月25日より5年間

(12) 問合せ先

郵便番号170-8476

東京都豊島区南大塚2丁目8番1号

東京都立大塚病院 庶務課 庶務係

電話 03-3941-3211 内線2218

FAX 03-3941-9557

2 東京都立大塚病院歯科医師臨床研修カリキュラム

I. 到達目標（1）

1. 医療面接

1. コミュニケーションスキルを実践する。
2. 病歴聴取を的確に行う。
3. 病歴を正確に記録する。
4. 患者の心理・社会的背景に配慮する。
5. 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
6. 患者の自己決定を尊重する。
7. 患者のプライバシーを守る。
8. 患者の心身における QOL に配慮する。
9. 患者教育と治療への動機付けを行う。

2. 総合診療計画

1. 適切で十分な医療情報を収集する。
2. 基本的な診察・検査を実践する。
3. 基本的な診察・検査の所見を判断する。
4. 得られた情報から診断する。
5. 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
6. 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
7. 一口腔単位の治療計画を作成する。

3. 予防・治療基本技術

1. 基本的な予防法の手技を実施する。
2. 基本的な治療法の手技を実施する。
3. 医療記録を適切に作成する。
4. 医療記録を適切に管理する。

4. 応急処置

1. 疼痛に対する基本的な治療を実践する。
2. 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。

3. 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

5. 高頻度治療

1. 齲蝕の基本的な治療を実践する。
2. 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
3. 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
4. 抜歯の基本的な処置を実践する。
5. 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

6. 医療管理・地域医療

1. 保健診療を実践する。
2. チーム医療を実践する。
3. 地域医療に参画する。

II. 到達目標（2）

1. 救急処置

1. バイタルサインを観察し、異常を評価する。
2. 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
3. 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
4. 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
5. 一次救命処置を実践する。
6. 二次救命処置の対処法を説明する。

2. 医療安全・感染予防

1. 医療安全対策を説明する。
2. アクシデント及びインシデントを説明する。
3. 医療過誤について説明する。
4. 院内感染対策を説明する。
5. 院内感染対策を実践する。

3. 経過評価管理

1. リコールシステムの重要性を説明する。
2. 治療の結果を評価する。
3. 予後を推測する。

4. 予防・治療技術

1. 専門的な分野の情報を収集する。
2. 専門的な分野を体験する。
3. POS に基づいた医療を説明する。
4. EBM に基づいた医療を説明する。

5. 医療管理

1. 歯科医療機関の経営管理を説明する。
2. 常に必要に応じた医療情報の収集を行う。
3. 適切な放射線管理を実践する。
4. 医療廃棄物を適切に処理する。

6. 地域医療

1. 地域歯科保健活動を説明する。
2. 歯科訪問診療を説明する。
3. 歯科訪問診療を体験する。
4. 地域連携を説明する。

Ⅲ. 具体的な研修項目（1期：1年目）

1. 診査項目

1. 問診
2. 全身の診査
3. 口腔顎顔領域の診査
4. 診査用顎模型による診査
5. 顎・顔面・口腔の写真診査
6. 成長発育の診査
7. 習癖嗜好の診査

2. 検査項目

1. 器具を用いる齲蝕の検査
2. 器具を用いる歯周疾患の検査
3. 唾液の検査
4. 画像検査
 - ①口内撮影法
 - i) 平行法
 - ii) 二等分法
 - iii) 咬翼法
 - iv) 咬合法
 - ②口外撮影法
 - i) 頭部顔面単純投影法
 - ii) 後頭前頭位撮影法
 - iii) 側位撮影法
 - iv) 軸位撮影法
 - v) Waters 撮影法
 - ③特殊撮影法
 - i) パノラマX線撮影法
 - ii) X線断層撮影法
 - iii) 唾液腺造影撮影法
 - iv) 顎関節投影法
 - v) 頭部X線規格写真

- ④その他
 - i) CT
 - ii) MRI
 - iii) RI 検査
- 5. 血液検査
 - ①採血法
 - ②データからの診断
- 6. 尿検査
- 7. 循環機能検査
- 8. 呼吸機能検査
- 9. 細菌学的検査
- 10. 病理組織学的検査
- 11. 心理・精神検査

3. 処置項目

- 1. 除通処置
- 2. 局所麻酔法
 - ①表面麻酔
 - ②浸潤麻酔
 - ③伝達麻酔
- 3. 窩洞の形成と修復操作
 - ①レジン充填
 - ②インレー修復
- 4. 支台歯形成と修復操作
- 5. 歯髄の処置
 - ①覆罩
 - ②抜髄
- 6. 感染根管の処置
- 7. 根管充填
- 8. 歯周治療
 - ①スケーリング
 - ②ルートプレーニング

- ③暫間固定
- ④歯周ポケット搔爬
- 9. 抜歯
 - ①乳歯
 - ②永久歯
- 10. 口腔内消炎手術
- 11. 手術後処理
- 12. 可徹式欠損補綴処置
 - ①簡単な欠損症例における部分床義歯による補綴操作
 - ②簡単な欠損症例における全部床義歯による補綴操作
 - ③単純な補綴処置破損の修理・調整
- 13. 入院患者の管理
- 14. 患者の継続管理

4. その他

- 1. 診療録等の作成
 - ①診療録の記載
 - ②処方箋の交付
 - ③技工指示書の発行
- 2. インフォームド・コンセプト
 - ①患者の社会的、全身的背景の配慮
 - ②療養の方法とその他の指導
- 3. 診療計画・評価
 - ①情報収集
 - ②診療計画の作成・変更
- 4. 他科医師との連携による治療
- 5. 他の医療従事者との連携

IV. 具体的な研修項目（2期：2年目）

●口腔外科

1. 処置項目

1. 外傷の処置
2. 抜歯
 - ①困難な永久歯
 - ②智歯
 - ③埋伏歯
 - ④ヘミセクション
3. 抜歯窩再搔爬
4. 後出血処置
5. 歯根端切除術
6. 歯根嚢胞摘出術
7. 口腔内消炎手術
8. 口腔外消炎手術
9. 小帯整形術
10. 歯槽骨整形術
11. 注射法
12. 精神鎮静法
13. 全身麻酔
14. ショックの救急処置

2. 診断と治療（救急性のあるもの）

1. 歯髄炎
2. 歯周炎
3. 顎口腔領域の化膿性炎
4. 外傷
5. 口腔出血
6. 術後疼痛
7. 顎関節症

3. 特殊な口腔外科疾患の診断と治療立案

1. 口唇顎口蓋裂などの先天異常、顎変形症、口腔腫瘍など

●保存・補綴

1. 歯内療法、歯周療法

1. 急性歯髄炎、歯根膜炎、大臼歯の根管治療などより困難性の高い治療
2. 重度歯周疾患の患者指導、歯周外科の実施

2. 歯冠修復

1. 前歯、臼歯のブリッジによる歯冠補綴処置

3. 欠損治療

1. より困難な補綴治療操作

●有病者の歯科治療

1. 止血に注意する疾患の歯科治療

(白血病、特発性血小板減少性紫斑病、悪性貧血、骨髄異形成症などの出血性素因疾患、肝疾患など)

2. 感染予防を厳重にする疾患の歯科治療

(心弁膜症、心内膜炎、慢性関節リウマチなどの、その他易感染症疾患)

3. 術中管理を必要とする疾患の歯科治療

(重度な循環器疾患を持つ患者、脳血管障害患者など)

4. 服用薬物・投薬に注意すべき疾患の歯科治療

(鎮痛薬誘発性喘息、アレルギー、妊娠、抗凝固薬、薬物相互作用など)